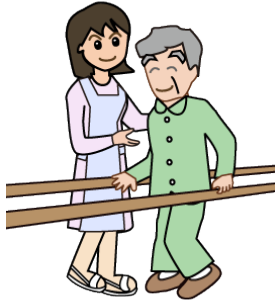


領域:リハビリテーション部

医療ニーズ;見た目の自然さと実用性を兼ね備えた義手



フリーメディカルイラスト図鑑の画像を使用

医療ニーズ提案部門
滋賀医科大学 附属病院 リハビリテーション部

「患者さんが装着したくなる義手」

■リハビリテーション部ホームページ

http://www.shiga-med.ac.jp/hospital/doc/department/central_clinic/rehabilitation_dep/index.html

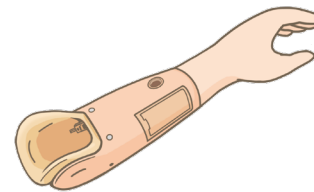
■ニーズの背景

- ・これまで義手は外見の再現に特化した物、限定された動きのみで日常生活では実用的とは言えない物、が一般的であった。
- ・健常者と同じく思うように手や指が使い、本当の手指と区別のつかない見た目の義手は、患者にとって精神面においてもプラスに働き、QOLの大幅な向上が期待される。

■現在の対応方法

- ・動かないが外観の再現を重視した「装飾義手」、肩の動きをハーネスに連動させ手や肘を動かす「能動式義手」、特定の作業に特化させた「作業用義手」などが一般的な義手である。
- ・日常生活の動作に対しより実用的な筋電義手も存在しているが、こちらは適応できる人とできない人がおり、費用も非常にかかる。

【イメージ・参考例】 現状の義手



看護roo!イラスト素材を使用

機能アイデア例

- ・見た目と機能のバランス
- ・患者目線の仕様
- ・AIを使った工夫

■使用頻度や市場性(マーケットサイズ)に関する情報

- ・上肢・下肢の障がい者数は、それぞれ82人/1,000人・60人/1,000人(内閣府資料2018年)

https://www8.cao.go.jp/shougai/whitepaper/h25hakusho/zenbun/furoku_08.html

お問合せ先

滋賀医科大学 研究推進課 産学連携係

電話: 077-548-2847

メール: hqsangaku@belle.shiga-med.ac.jp